

豊田市における中心市街地の 活性化について

豊田市 産業部 商業観光課
中心市街地担当 担当長 鳶 和典



◆ 豊田市事務分掌条例より

(産業部の分掌事務)

第13条 産業部の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 工業、商業及び労働行政に関すること。
- (2) 観光に関すること。
- (3) 都心地区の活性化に関すること。
- (4) 農業、林業及び水産業に関すること。
- (5) 土地改良に関すること。

◆ 豊田市事務分掌規則より

2 商業観光課は商工振興室の所管とし、その分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 商業の振興に関すること。
- (2) 商業関係諸団体との連絡調整に関すること。
- (3) 都心地区の活性化に関すること。
- (4) 中小企業の経営相談及び資金融資に関すること。
- (5) 観光事業の計画及び施行に関すること。
- (6) 観光行事の宣伝紹介に関すること。
- (7) 観光施設の維持管理及び開発整備に関すること。
- (8) 観光関係諸団体との連絡調整に関すること。
- (9) 計量行政及び計量検査所の運営管理に関すること。
- (10) 消費生活に関すること。

◆ 豊田おいでんまつり



◆ 公共空間の利活用



◆おもてなしエリア(RWC2019)

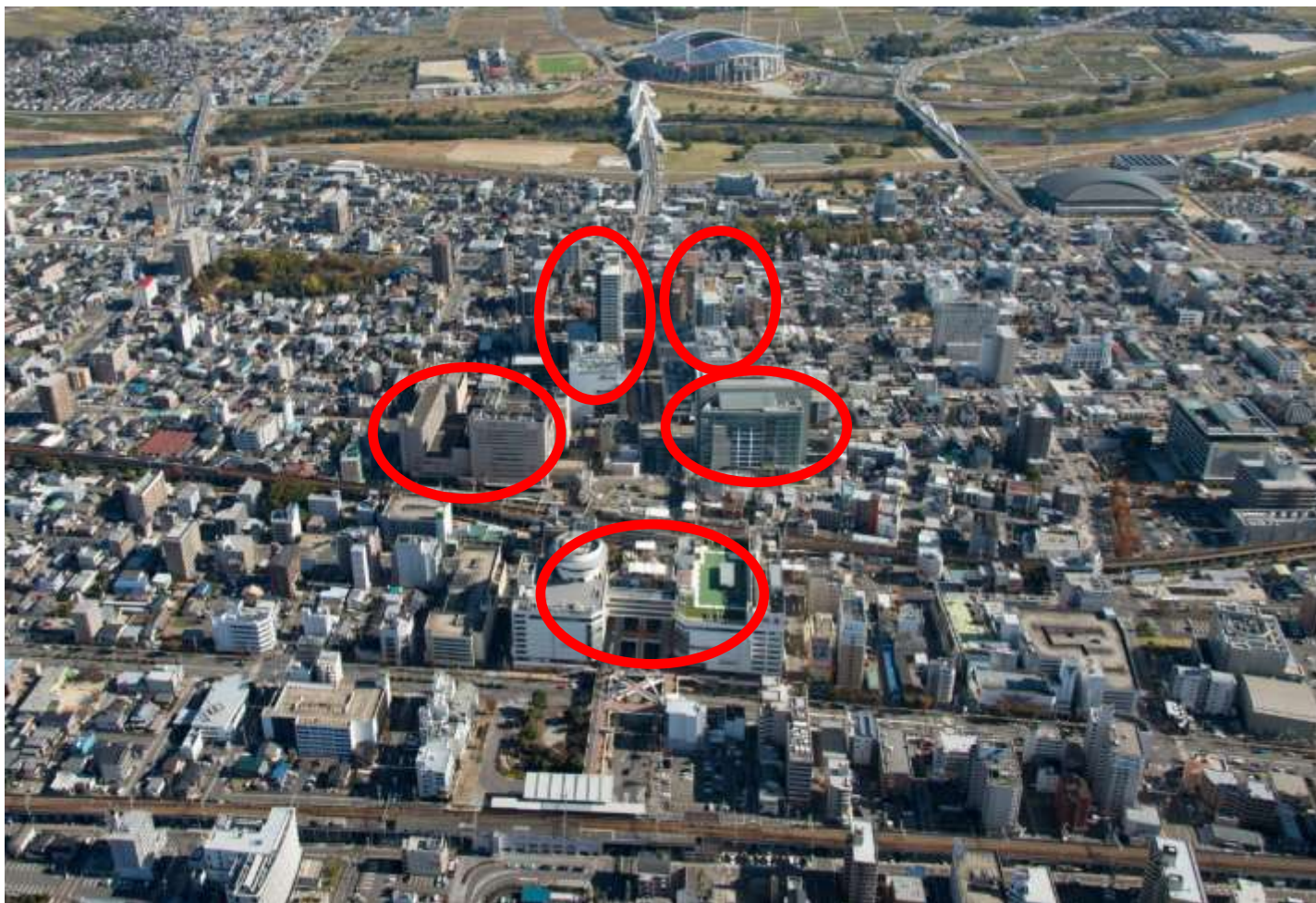


◆ 昭和60年ごろの豊田市の中心部（再開発事業前）



出典：豊田市駅西口地区市街地再開発組合「豊田の再開発史」

◆平成30年の豊田市



中心市街地活性化への歩み

◆昭和60年に策定された「都心総合整備基本計画」から 再開発事業を始めとするまちの基盤整備のスタート

計画名称	テーマ	主な取組実績
都心総合整備基本計画 (昭和60年～)	多目的な人々が集まる 核(家族が楽しめる シビックアミューズメント センター)の形成	・市街地再開発事業(豊田市駅西口地区、 豊田市駅東地区、豊田市民センター地区) ・ペDESTリアンデッキ整備事業 ・緑陰歩道整備事業(若宮町・西町)
中心市街地活性化基本計画 (平成12年～)	交流がうみだす 市民社会の創造拠点	・市街地再開発事業(豊田市駅前通り南地区) ・中心市街地活性化推進組織(TMO)の設立
中心市街地緊急活性化計画 (平成13年～)	対話で蘇る ふるさとの顔	・広域商業施設(撤退した豊田そごう、サティの後継 店舗)の誘致 ・再開発ビルに市民活動センター、子育て支援セン ター、駅西口サービスセンター(市窓口)を設置 ・旅券発給窓口等の県民サービス施設の誘致

中心市街地活性化基本計画とは

- ◆ 人口減少社会に対応するため、中心市街地の都市機能を増進し、経済活力を向上させる施策を総合的かつ一体的に推進する上で、基本となる計画
- ◆ 平成18年のまちづくり三法（大店立地法・中活法・時計法）の改正により、市区町村が作成した計画を国に申請し、認定を受ける制度が設立された
- ◆ 計画に対する適切な評価・各施策の横の連動性強化・参加主体の拡大・支援措置の拡充などをもって、より有用な計画の策定及び推進を促す仕組みが構築された
- ◆ 計画において中心市街地活性化の目標を掲げ、定期的に目標に対する評価を行う
- ◆ 計画は5つの施策群からなり、各事業の推進により活性化の目標達成に資する

4章（市街地整備改善）、5章（都市福利施設整備）、6章（居住環境向上）、7章（商業の活性化）、8章（4～7章までの事業と一体的に推進する事業）

中心市街地活性化基本計画とは

中心市街地活性化法の概要

【目的】

少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進。

【基本理念】

地方公共団体、地域住民及び関連事業者が相互に密接な連携を図りつつ主体的に取り組むことの重要性にかんがみ、その取組に対して国が集中的かつ効果的に支援を行う。

基本方針(中心市街地活性化本部が案を作成→閣議決定)

地域ぐるみの取組

基本計画への意見

中心市街地活性化
基本計画
<市町村が作成>

- 基本的な方針 ●位置及び区域
- 目標(定量的な数値目標)
- 計画期間(概ね5年以内)
- 中心市街地活性化のための事業
- フォローアップ ●推進体制 等

認定
申請

認定

内閣総理大臣による認定制度

協議

同意

関係行政機関の長

認定計画の実施等
について意見

認定中心市街地活性化基本計画

認定基本計画への重点的な支援

市街地の整備改善

・都市再生整備計画事業※

都市福利施設の整備

・暮らしにぎわい再生事業※

まちなか居住の推進

・中心市街地共同住宅供給事業※

経済活力の向上

・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業

・中心市街地活性化ソフト事業

※社会資本整備総合交付金を活用して支援

現時点で認定を受けている市町及び認定計画

81市2町(83計画)(令和元年7月予定)

北海道	岩見沢市※、富良野市※	滋賀県	草津市※、守山市※、東近江市、 長浜市※
青森県	弘前市※、八戸市※※、黒石市、 十和田市※	京都府	福知山市※
岩手県	遠野市※、久慈市※	大阪府	高槻市※、堺市
宮城県	石巻市※	兵庫県	伊丹市※、川西市※、明石市※、 姫路市※、丹波市※
秋田県	秋田市※	奈良県	—
山形県	山形市※、上山市※、長井市、鶴岡市※、 酒田市※	和歌山県	—
福島県	福島市※、須賀川市※、会津若松市、 いわき市	鳥取県	鳥取市※※、倉吉市、米子市※
新潟県	長岡市※※	島根県	江津市、雲南市
茨城県	水戸市、土浦市※	岡山県	倉敷市※
栃木県	—	広島県	三原市
群馬県	高崎市※	山口県	山口市※、岩国市
埼玉県	川越市※、蕨市、春田町	香川県	●高松市※※
千葉県	—	徳島県	—
東京都	八王子市、青梅市、府中市、	愛媛県	松山市※
神奈川県	—	高知県	高知市※
山梨県	甲府市※	福岡県	大牟田市
富山県	富山市※※、高岡市※※	佐賀県	唐津市※、基山町
石川県	金沢市※※	長崎県	諫早市※、長崎市
福井県	越前市※	熊本県	熊本市※※
長野県	上田市※	大分県	大分市※※、佐伯市※、竹田市
岐阜県	岐阜市※※、大垣市※、富山市、 中津川市※	宮崎県	小林市
静岡県	静岡市※、浜松市※、掛川市※、 藤枝市※※	鹿児島県	鹿児島市※※、奄美市
愛知県	豊田市※※、田原市	沖縄県	沖縄市※
三重県	伊勢市		

●は今回認定を受けた1市
※印は2期計画の認定を受けた市
※※印は3期計画の認定を受けた市

出典:内閣府地方創生事務局HP

中活基本計画の区域

◆ 基本計画エリア(196ha)

- ◆ 北は(都)豊田則定線、東は矢作川、西は枝下緑地、南は(都)初陣線に囲まれた範囲



◆ 合計71事業を実施

1 第1期計画の概要

- 計画期間 平成20年7月から平成25年3月まで
- 将来像 緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）の創造
- 目標
 - ①活力とにぎわいの創出
 - ②公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現
 - ③環境に配慮したまちづくりの実践



2 第1期計画の目標達成状況

目標	目標指標	状況	基準値	実績値(最新値)	目標値
①	平日歩行者通行量 (7地点)	目標未達成 横ばい～微減	25,788人 (H19)	25,568人(H23) 対基準値▲0.9%	30,500人 (H24)
②	鉄道駅1日乗降客数	目標未達成 増加	36,477人 (H18)	40,095人(H23) 対基準値+9.9%	45,300人 (H24)
③	エコシール受取枚数	目標達成 増加	40万枚 (H18)	約154.7万枚(H22) 対基準値3.9倍	50万枚 (H24)

■ 第1期のプラス要素

- ・はしご酒などの飲食イベントや空き店舗を活用した店舗誘致により、夜間の歩行者通行量は増加しました。
また、空き店舗数の増加に歯止めがかかりました。
- ・国の支援を受けた民間のマンション建設事業が実施されたことにより、居住人口が下支えされました。
- ・竹生緑・桜城址公園の整備や歩行者ITS推進事業など、都市基盤が着実に整備されました。

■ 第1期のマイナス要素

- ・10件の進出を期待していた商業サービス機能誘致奨励事業が景気低迷等の影響もあって4件に留まりました。
- ・景気低迷等により事業所の一部が撤退しており、主要ビルの業務床空室率の悪化と昼間人口の減少が見られました。

◆ 合計38事業を実施

1 第2期計画の概要

- 計画期間：平成 25 年4月～平成 30 年3月
- 区域面積：196ha
- 将来像：緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）の創造
- 目 標
 - ①【活力】活力とにぎわいの創出
 - ②【交通】先進的な交通モデルを体感できる中心市街地の実現
 - ③【環境】緑に包まれた中心市街地の実現

2 第2期計画の目標達成状況

目標の達成状況を的確に把握するため、「平日歩行者通行量」、「休日歩行者通行量」、「居住人口」の3つの目標指標を掲げ、その全てにおいて目標値を上回りました。

目標指標	状況	基準値	目標値	実績値(最新値)
平日歩行者通行量	目標達成	72,230 人/日 (H23)	73,820 人/日 (H29)	83,673 人/日(H30.3) 対基準値+15.8%
休日歩行者通行量	目標達成	63,094 人/日 (H23)	65,970 人/日 (H29)	72,195 人/日(H30.3) 対基準値+14.4%
居住人口	目標達成	12,715 人 (H23)	13,140 人 (H29)	13,398 人(H30.3) 対基準値+5.4%

第2期中活基本計画

◆ 第2期計画の成果 北地区再開発ビルの竣工



第3期中活基本計画

◆計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年間）

【中心市街地の現状】

- ・ 商業施設、居住施設等複合施設が整備され、時間消費型の都市機能が充実した。
- ・ 居住人口は増加したが、高齢化が進行している。
- ・ 頻繁に来街する市民の割合が減少傾向にある。
- ・ 周辺市町に大型商業施設が開店している。
- ・ 早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているものの、昼間の歩行者通行量が伸び悩んでいる。

【市民の声】

- ・ 中心市街地への満足度が低下傾向
- ・ 「買い物に便利な駐輪場、駐車場」への期待
- ・ 人との交流やにぎわいのあるまちへの期待

【今後の社会情勢】

- ・ 平成 31(2019)年 ラグビーワールドカップ
- ・ 平成 32(2020)年 東京オリンピック
パラリンピック
FIFA フットサル
- ・ 平成 38(2026)年 アジア競技大会
- ・ 平成 39(2027)年 リニア中央新幹線開業

目 標

1 まちなかにぎわい創出

- ・ 歩行者通行量は、早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているものの、昼間の回遊者が伸び悩んでいる。
- ・ 市民へのニーズ調査によると、約8割が自動車で来街しており、自動車利用者の利便性を高めつつ、まちなかの魅力を高め、来街の促進を図る必要がある。

2 公民連携による活性化

- ・ まちづくりの担い手を育成し、持続的なエリアマネジメントを推進するため、公共的空間の一層の活用を含め、公民連携による活性化事業を展開していく必要がある。

【第2期計画の検証結果】

- ・ 歩行者通行量(平日・休日)の増加
- ・ 居住人口の増加
- ・ 多様な主体によってまちづくり事業が展開されているが、民間事業者が独自に収益を生みだすことや、収益をまちに再投資することが難しい状況

第3期中活基本計画

◆第3期中活計画 目標指標について

第3期計画が目指す目標指標について、「目標1 まちなかにぎわい創出」に対しては「歩行者通行量（昼間 9～17 時）」及び「フリーパーキング対象駐車場の総利用時間」の2指標を設定します。「目標2 公民連携による活性化」に対しては「公共的空間の利用率」を設定し、公共的空間の更なる活用を図っていきます。



◆第3期中活計画 基幹事業の紹介

新豊田駅東口駅前広場整備事業

駅利用者の利便性の向上を図るため、一般車・バス等の乗降場や自動二輪駐輪場を設置するとともに、イベント利用ができる広場施設として再整備し、にぎわい空間の創出を図ります。



公共空間等整備事業

大型商業施設のトイレの改修やまちなかの広場の整備等、公共空間の改修や整備によって、快適な都市空間の創出を推進します。



公共的空間活用等研究事業

桜城址公園での月1回のマーケット開催等、公共的空間活用の促進により、まち歩き
の楽しみの創出及び回遊性の向上を図ります。



低炭素社会モデル地区整備事業

スマートハウスの展示や先進的な環境技術のPRにより、環境モデル都市として「低炭素の見える化」を推進します。



駐車場利便性向上事業

駐車場施設の再整備、フリーパーキング
駐車場の誘導方法及びシステムの見直し
を進めることで、駐車場の利便性の向上を
推進します。



まちなかにぎわい・回遊性向上事業

商業者を始めとするまちなかの関係者が合同でイベント事業や連携事業を展開し、にぎわいの創出と回遊性向上を図ります。



エリアマネジメント推進組織((一社)TCGM)によるまちづくり及び
プロモーション事業

法人格を持ったまちづくり組織が事業収益を得て、新たなまちづくり事業に還元していくことにより、持続的な活性化事業の展開を推進します。



第3期中活基本計画

豊田市の都心エリア(500ha)のうち、市街地の整備改善や商業の活性化などに重点的に取り組むエリアとして、第2期計画に引き続き196haを「中心市街地」に設定します。

第3期計画では、平成30年度から平成34年度までの5年間を計画期間として、「市街地の整備改善」、「都市施設の整備活用」、「まちなか居住の推進」、「商業の活性化」、「アクセス性・回遊性の向上」の5つの施策群を設定し、計37事業を展開します。



市街地の整備改善

1. 豊田市駅前通(旧本地区第一種市街地再開発事業)
2. 豊田市駅東口駅前広場整備事業
3. 新豊田駅東口駅前広場整備事業*
4. 豊田市駅西口駅前広場整備事業*
5. 都心地区駅前広場整備事業
6. 市道西宮宮崎線市道共有道路整備事業
7. 自転車歩行者の整備事業
8. 民用地権化支援事業
9. 新豊田駅西口駅前広場整備事業
10. 緑と花につつまれた都心創出事業

都市施設の整備活用

11. 低炭素社会モデル地区整備事業*
12. まちなか実内機能整備事業
13. 都心公共施設活性化事業
14. 博物館整備事業
15. ものつくり創造拠点運営事業

まちなか居住の推進

16. 地域優良賃貸住宅整備費補助事業
17. 住宅団地整備費補助事業

商業の活性化

18. 中心市街地テナントミックス整備事業
19. まちなか案内事業
20. エリアマネジメント推進組織(一社)TCO(株)によるまちづくり及びプロモーション事業*
21. 豊田おいでんまつり事業
22. 中心市街地イルミネーション事業
23. 商店街にぎわい創出支援事業*
24. 空き店舗等活用事業
25. まちなかにぎわい・回遊性向上事業*
26. 商業・サービス機能誘致奨励事業
27. まちなかコミュニティ施設運営事業*
28. 公共空間等整備事業*
29. まちなかエリア新機軸創出・支援事業

アクセス性・回遊性の向上 (交通関係)

30. バスルート改善に伴うバス停整備事業
31. 豊田市駅バスターミナル施設整備事業
32. 基幹バス路線運行事業
33. 公共的空間活用等研究事業*
- 34.ゾーン交通規制推進事業
35. マルチモビリティ共同利用システム構築事業
36. 名鉄豊田市駅副都心化事業
37. 駐車場利便性向上事業*

「*」は基幹事業です

※赤字の事業は主に民間事業者が行う事業です。

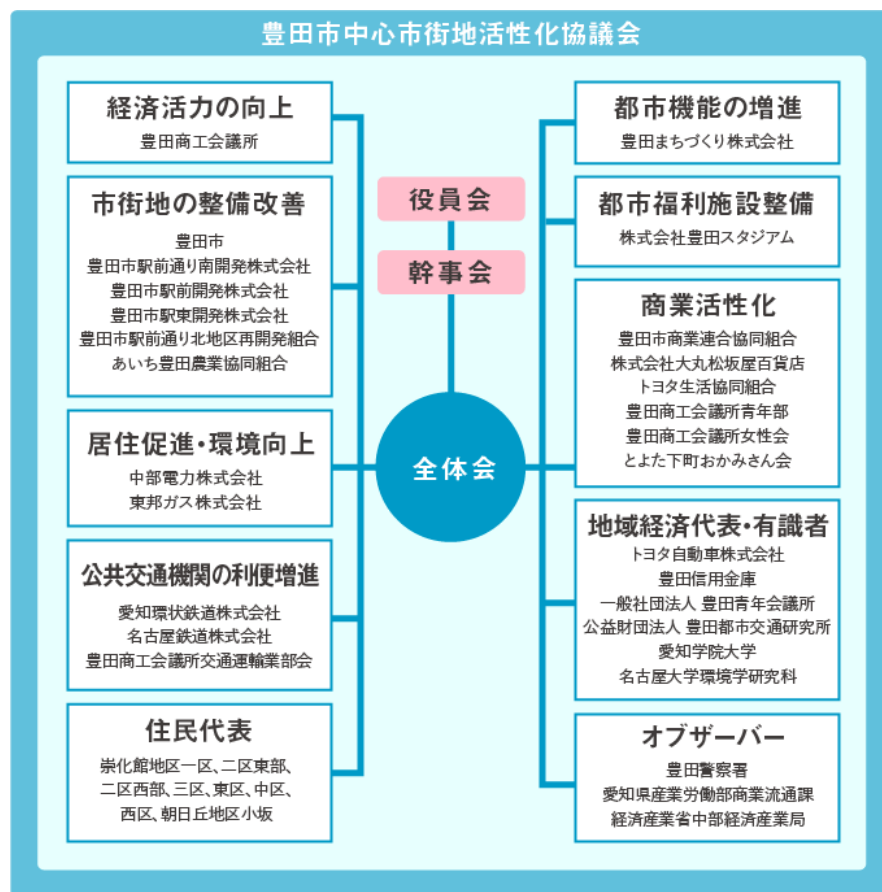
※各事業の末に記載された数字はそれぞれ、

(1)まちなかにぎわいの創出

(2)公民連携による活性化の主要事業に該当する事業です。

中心市街地活性化協議会

◆ 中心市街地に関わる多種多様な関係者で構成された 法定組織



協議会役職	団体名
会長	豊田商工会議所 会頭
副会長	豊田まちづくり(株) 代表取締役社長
副会長	(公財)豊田都市交通研究所 所長
監事	豊田市 副市長
監事	豊田信用金庫 会長
監事	(株)豊田スタジアム 代表取締役社長
事務局長	豊田商工会議所 専務理事



◆ 歩行者自動計測装置（パロッシー）

- ◆ 平成20年より運用開始
- ◆ 現在20箇所に設置、朝5時～夜0時までの歩行者通行量をカウント
- ◆ 人の頭の形を認識してカウント
- ◆ 防犯カメラとしての機能は無い
- ◆ メリットは日常的に計測が可能で、過去同時期との比較が容易であること
- ◆ デメリットはイニシャルコストが1基あたり100万円程度必要なこと
- ◆ 国交省都市局が平成30年6月に策定した「まちの活性化を測る歩行者量調査のガイドライン」で、参考事例として紹介されたことにより、他市からの視察依頼が相次いだ

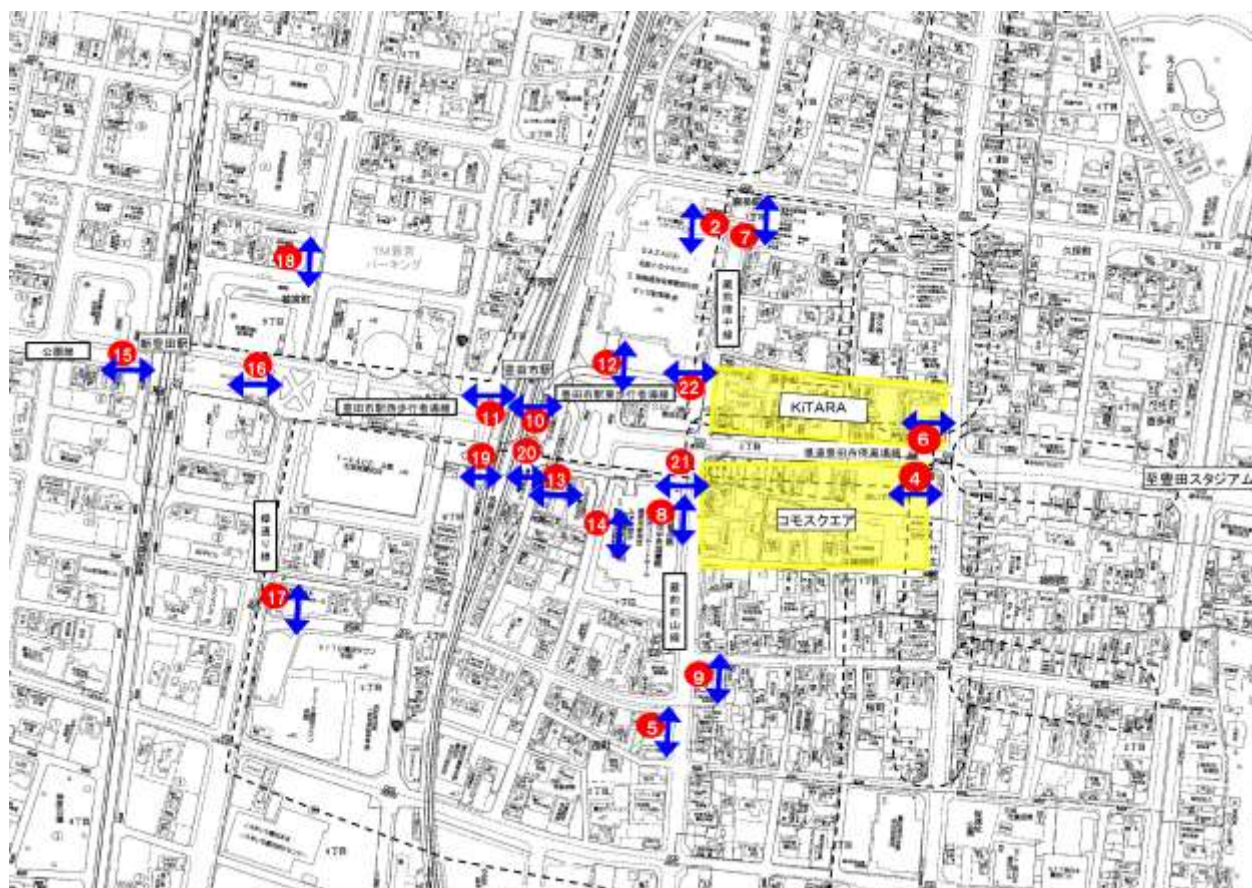


■NTTドコモLTEデータ通信
・計測装置19回線の契約と通信費用



◆パロツシーの設置状況

- ◆ 駅前停車場線を中心に設置
- ◆ 設置箇所の偏在化が課題



豊田市での特徴的な事業①

◆パロツシーにより入手できるデータの一例

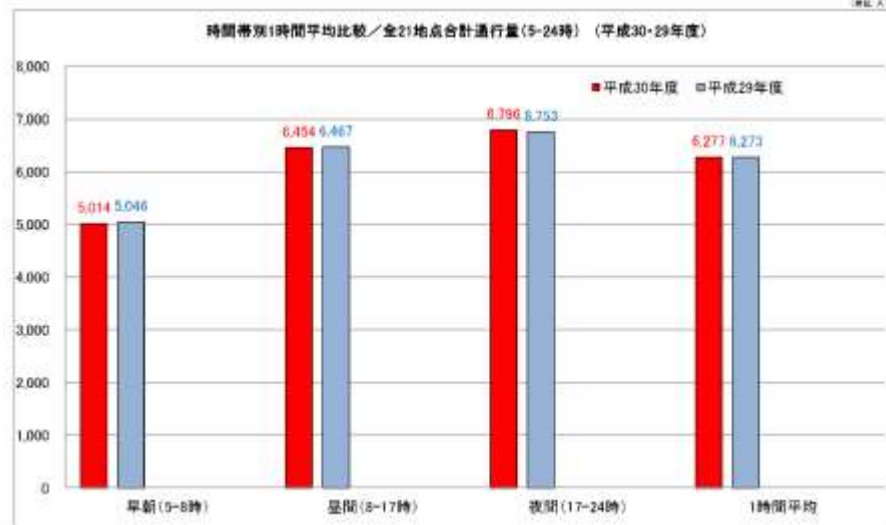
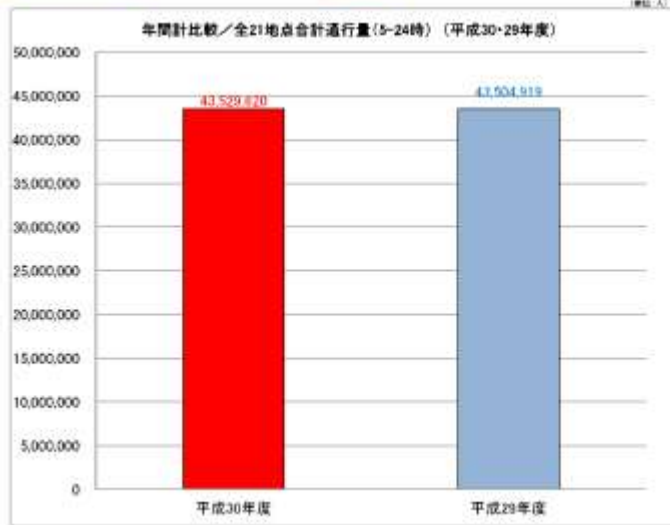
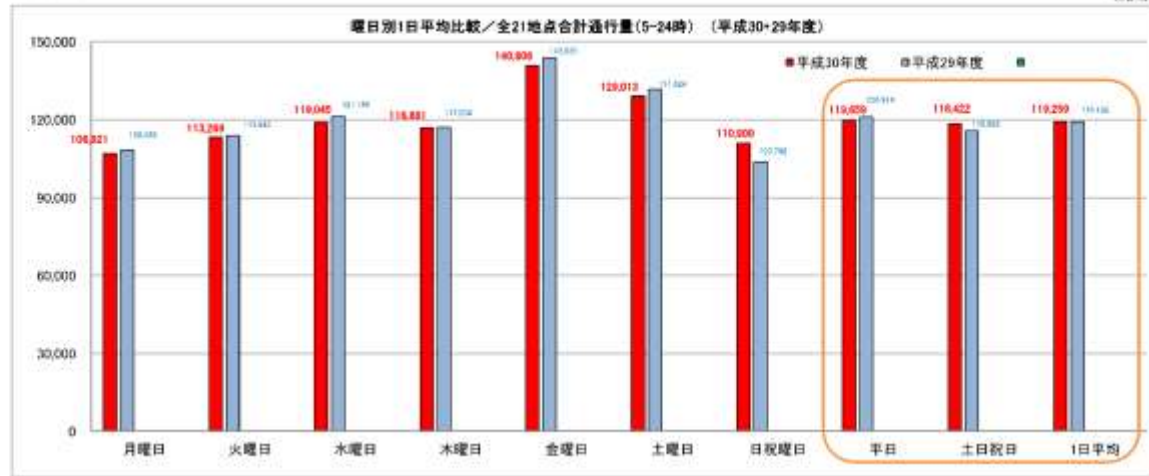
2. 平成30年度 歩行者通行量自動計測装置 通行量結果概要

※平成29年度以前は、計測地点数が18地点のため集計に含まず。

(単位:人)

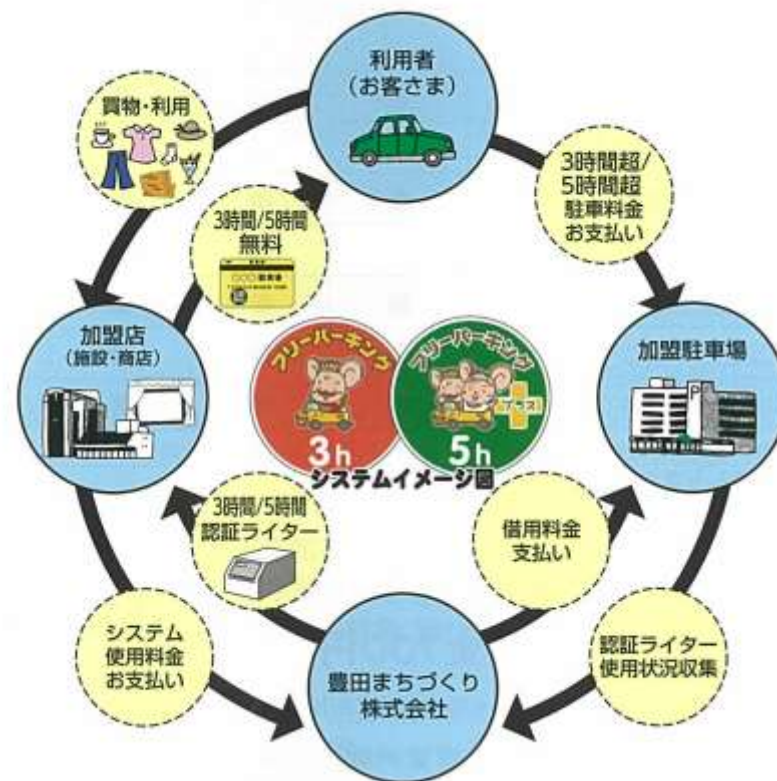
2-1 全21地点合計通行量(5-24時)

項目	平成30年度	平成29年度	H30/H29対比
年間計	43,529,620	43,504,919	100.1%
四半期 月平均			
1-3月	3,654,115	3,659,991	99.8%
4-6月	3,758,393	3,754,889	100.1%
7-9月	3,791,807	3,802,999	99.7%
10-12月	3,305,558	3,283,781	100.7%
月平均	3,627,468	3,625,410	100.1%
曜日別 1日平均			
月曜日	106,921	106,426	99.6%
火曜日	113,289	113,843	99.5%
水曜日	119,045	121,186	98.2%
木曜日	116,881	117,034	99.9%
金曜日	140,806	143,825	97.9%
土曜日	129,013	131,624	98.0%
日曜日	110,900	103,782	106.8%
平日	119,659	120,914	99.0%
土日祝日	118,422	115,585	102.5%
1日平均	119,259	119,192	100.1%
時間帯 1時間平均			
早朝(5-8時)	5,014	5,046	99.4%
昼間(8-17時)	6,454	6,467	99.8%
夜間(17-24時)	6,796	6,753	100.6%
1時間平均	6,277	6,273	100.1%



◆フリーパーキング(FP)事業

- ◆ 平成15年4月より運用開始
- ◆ 駐車料金が低い、どの駐車場に停めたらよいかわからない等の中心市街地における課題への対応として運用
- ◆ 加盟店による認証により**最大3時間まで無料**駐車が可能
- ◆ 認証の基準は加盟店により様々
- ◆ 加盟店は使用料を支払うことで最大で約4,400台もの駐車場を確保することができる



出典: 豊田まちづくり株「中心市街地活性化の歩み」

豊田市での特徴的な事業②

◆フリーパーキング・プラス(FPP)事業

- ◆平成29年11月より運用開始
- ◆従来の3時間無料駐車に加え、特定の駐車場を利用した場合、時間消費型施設と他の加盟店との2回認証により、最大5時間まで無料駐車が可能
- ◆対象となる駐車場は、比較的縁辺部の稼働率の低い駐車場とし、まちなかへの回遊を促す仕組みとなっている



出典：豊田まちづくり(株)「中心市街地活性化の歩み」

豊田市での特徴的な事業③

◆「あそべるとよたDAYS」



◆「あそべるとよたDAYS」



豊田市での特徴的な事業④

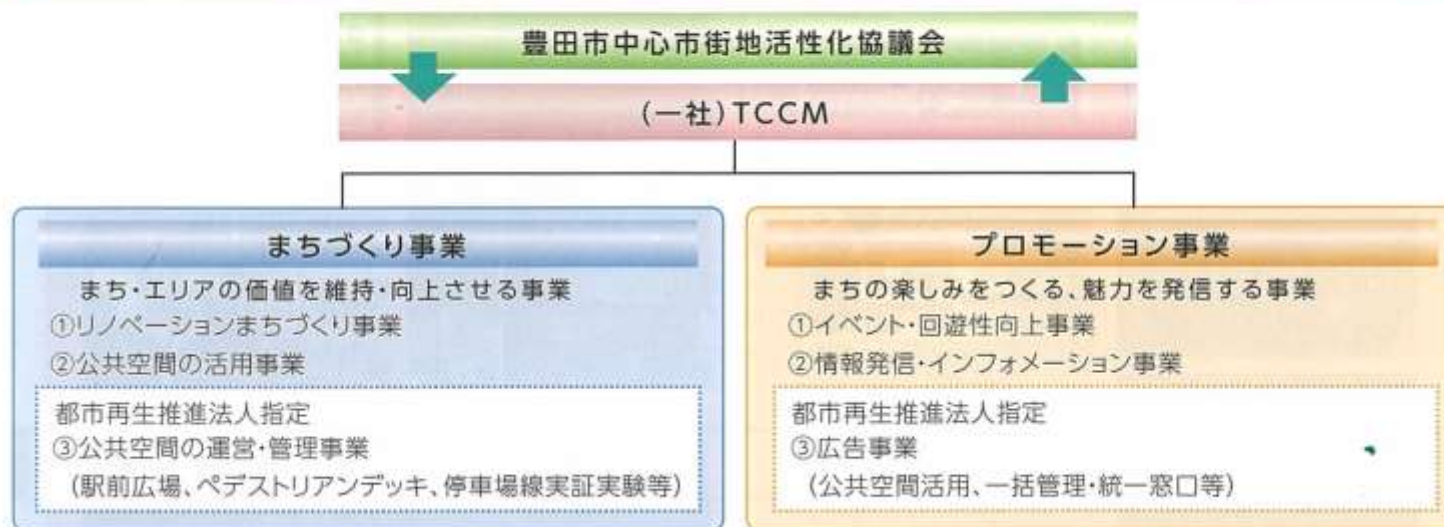
◆(一社)TCCMによる活動

(一社)TCCMの事業目的

地域住民・事業者等との連携のもと中心市街地の活性化をめざし、エリアマネジメントの推進事業実施により自立した組織をめざすとともに、事業収益を新たなまちづくり事業に還元。

- まち・エリアの価値を維持・向上させるまちづくり事業の推進
- まちの賑わい・楽しさを創造し、魅力を発信するプロモーション事業の実施

(一社)TCCMの事業方針



出典：豊田まちづくり㈱「中心市街地活性化の歩み」

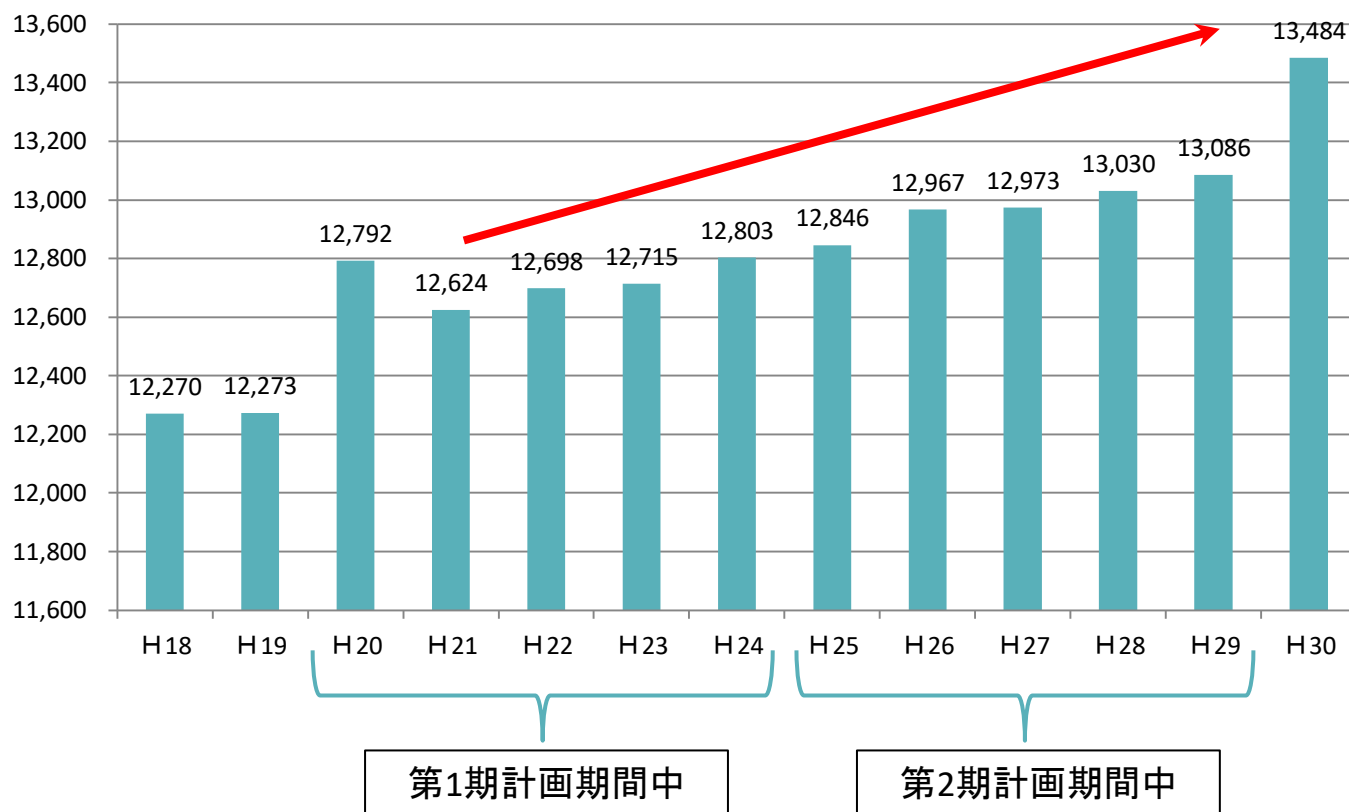
豊田市での特徴的な事業④

◆(一社)TCCMによる活動



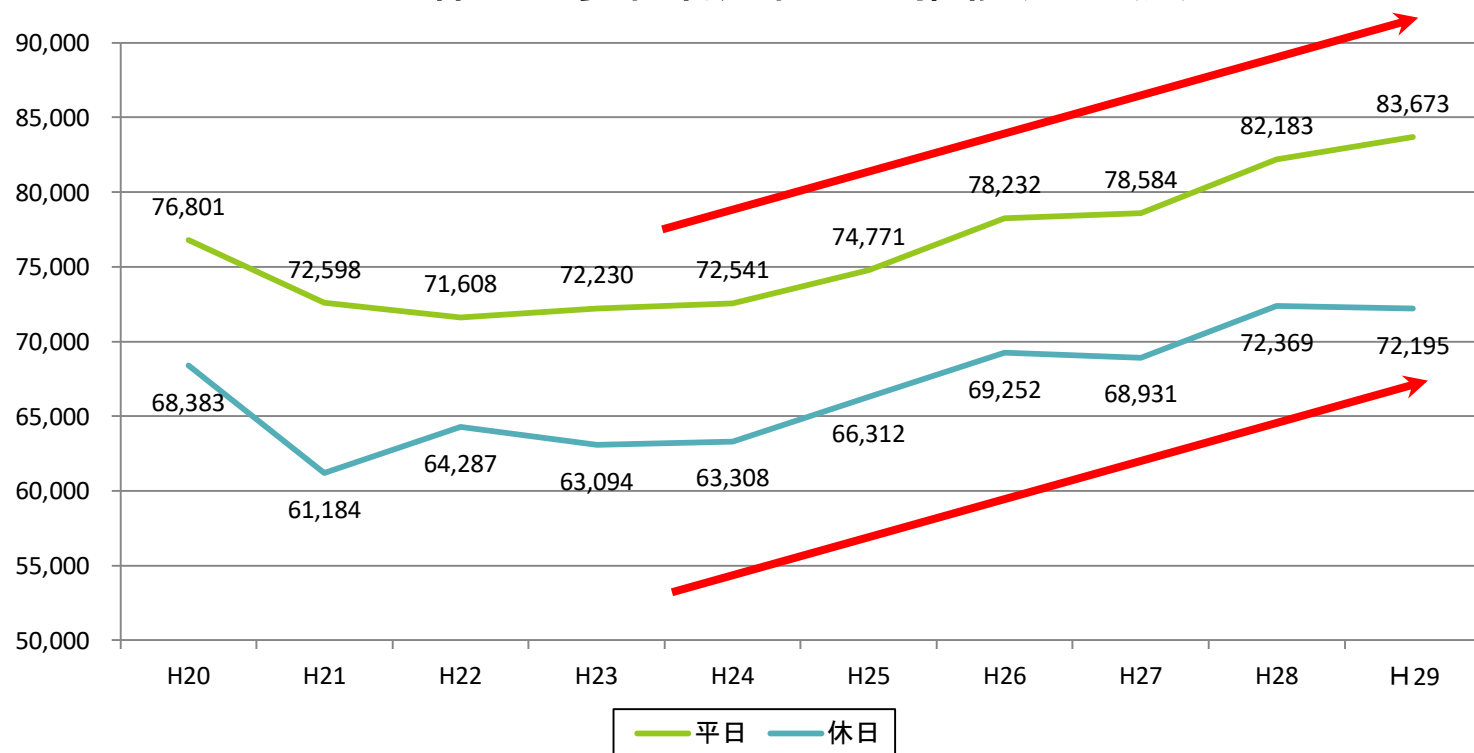
◆ 中心市街地エリア内の居住人口

中心市街地16町 人口(人) ※10月1日時点



◆ 歩行者通行量の推移（パロッシー16地点による）

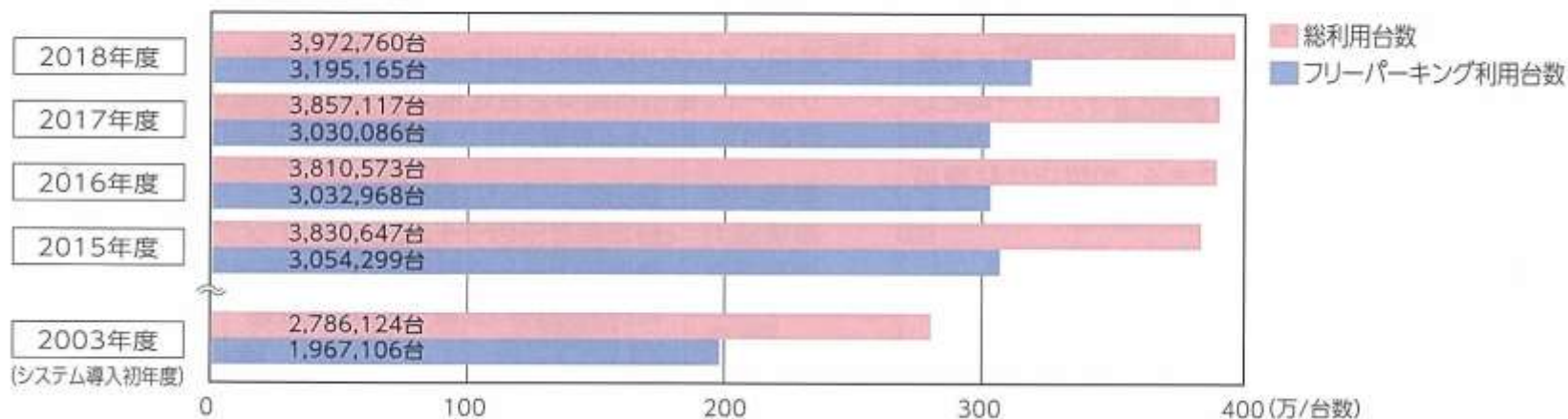
平日・休日の歩行者通行量の推移(16地点)



◆FP（フリーパーキング）対象駐車場の利用台数

■フリーパーキング利用状況 (2019年3月31日現在)

フリーパーキング利用台数の推移



出典: 豊田まちづくり株「中心市街地活性化の歩み」

◆H30中心市街地商業現況調査結果

■基本計画196haの営業店舗及び空き店舗の数と推移

●基本計画196ha全体の店舗数1,191件のうち営業店舗数は1,080件、空き店舗数は111件であった。

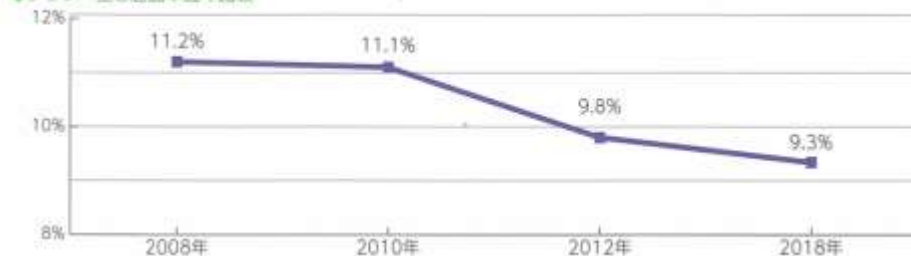
・空き店舗率は9.3%となり、これまでの調査のうち最も低い数値となり、前回調査から0.5ポイント改善した。

	2008年		2010年		2012年		2018年	
	店舗数	構成比	店舗数	構成比	店舗数	構成比	店舗数	構成比
営業店舗	1,053	88.8%	1,051	88.9%	1,081	90.2%	1,080	90.7%
空き店舗	133	11.2%	131	11.1%	117	9.8%	111	9.3%
総店舗数 (営業店舗+空き店舗)	1,186	100.0%	1,182	100.0%	1,198	100.0%	1,191	100.0%

◆グラフ 営業店舗の業態別構成比及び経年比較



◆グラフ 空き店舗率経年比較



出典：豊田まちづくり㈱「中心市街地活性化の歩み」

◆グラフ 営業店舗の業態別構成比及び比較



➤ 傾向として...

- ① 空き店舗率は減少傾向
→店舗形態自体の減少？
住宅化の進行？
コインパーキングの増加？
- ② 物販店舗は大幅に減少
飲食店は増加傾向
(特に夜間飲食)

将来の中心市街地のイメージ

◆「都心の未来デザインブック」より



将来の中心市街地のイメージ

◆「都心の未来デザインブック」より



「にぎわい」とは？

◆中活計画の目標 「まちなかのにぎわい創出」

➤さて、「にぎわい」とは？？

◆どういう状態を「にぎわっている」という？

◆今の豊田市はにぎわっていない？

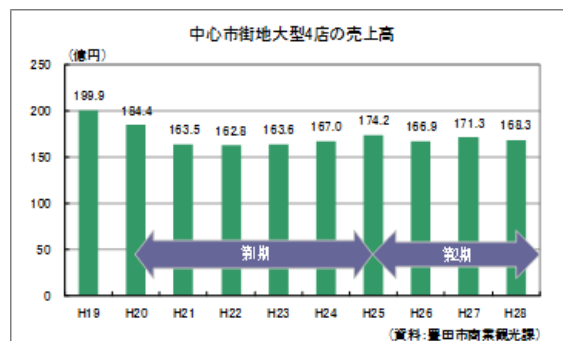
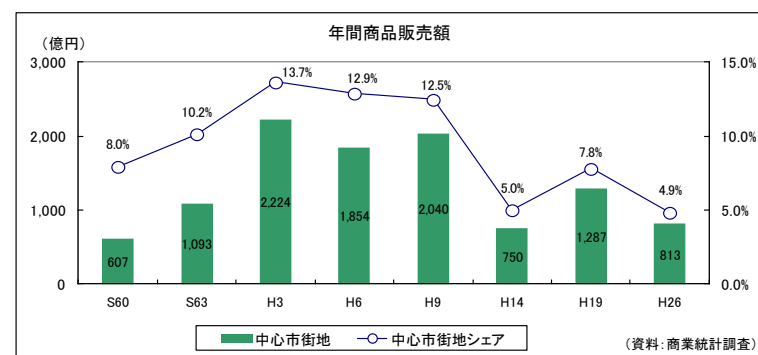
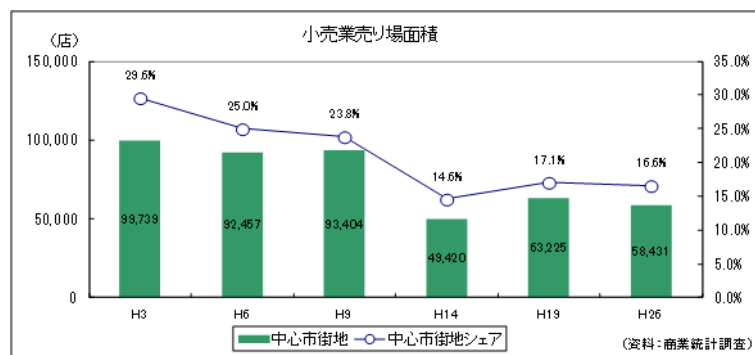
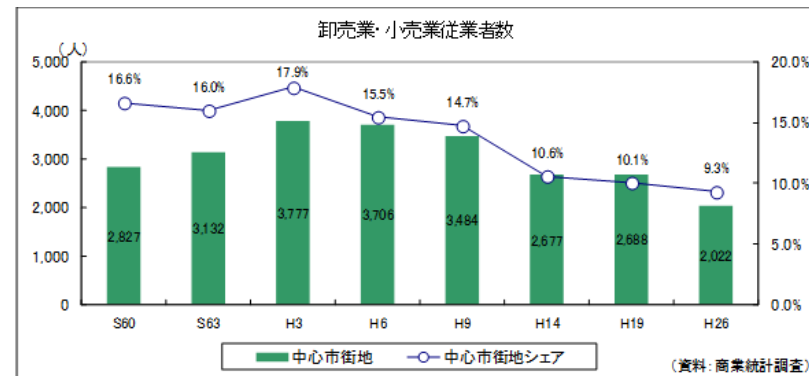
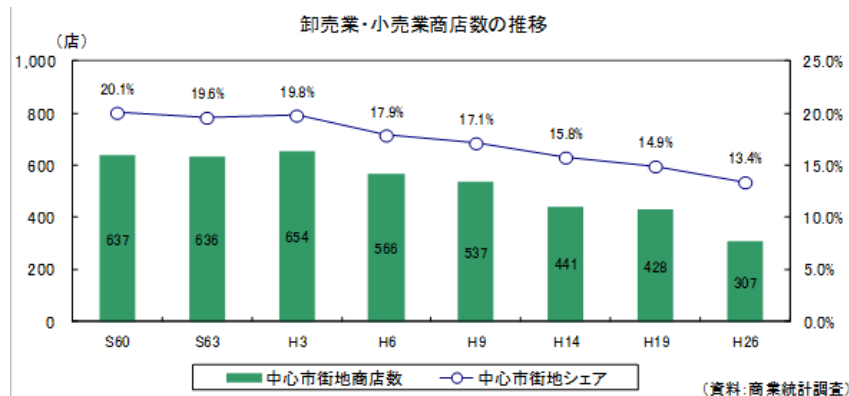
◆にぎわっている「まち」といえば？

◆にぎわいに必要な装置（施設）とは？

◆イベントをやればにぎわうのは当たり前だよね？

ご清聴
ありがとうございました

参考：中活区域内データ



		単位：人					
施設名	項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28
中央図書館	利用者総数	858,226	855,622	773,121	746,866	737,946	708,956
コンサートホール・能楽堂	入館者総数	67,352	62,437	66,980	76,758	77,314	77,986
産業文化センター	利用者総数	628,241	581,967	546,002	493,873	505,654	495,556
スカイホール豊田	利用者総数	82,975	71,947	81,451	87,058	88,603	92,639
豊田スタジアム	利用者総数	1,800,729	1,794,701	1,807,441	1,717,803	1,695,141	1,657,181
計		3,437,523	3,346,674	3,274,995	3,121,348	3,104,658	3,030,317

◆ 周辺市町における大規模商業施設の立地状況



参考：第1期中活計画 事業一覧

①「市街地の整備改善」に関する事業（28事業）

事業名	達成状況
(都) 豊田則定線整備	完了
竹生線整備	完了
市道吹上天神線整備	完了
市道神明線整備	完了
市道中町線整備	完了
高質環境道路整備	完了
まちづくり活動支援事業	実施中
まちづくり事業活用調査	実施中
冬の魅力創出事業	実施中
サイン施設整備	完了
桜城址公園再整備事業	完了
安永川環境整備事業	実施中
花のあるまちづくり事業	完了
(仮) 豊田市駅前通り北地区市街地整備事業	実施中
(仮) 西町地区都市再生事業【調査及び計画策定】	未実施
生活・回遊空間整備事業	未実施
国道155号歩道整備検討事業	実施中
歩行者・自転車道環境整備事業【調査及び計画策定】	実施中
(仮) 名鉄豊田市駅総合整備事業	未実施
無電柱化事業	実施中
屋上・壁面緑化支援事業	実施中
ユニバーサルデザイン整備事業	完了
フラワーロード事業	実施中
緑化推進事業	実施中
緑陰歩道リニューアル事業【調査及び計画策定】	未実施
豊田市駅周辺緑化推進事業	実施中
市道十塚八幡線整備	実施中
市道蔵前陣中線整備	実施中

②「都市施設の整備活用」に関する事業（8事業）

事業名	達成状況
ウェルカムセンター機能整備事業	未実施
産業文化センター駐車場整備事業	未実施
産業文化センターリニューアル事業	完了
とよたグローバルスクエアの活用	実施中
(仮) 中央保健センター環境整備(東庁舎)	完了
とよた子どもの権利相談室事業	実施中
(仮) 武道館・サブホール建設事業	完了
(仮) 文化交流センター整備事業【調査及び計画策定】	未実施

③「まちなか居住の推進」に関する事業（5事業）

事業名	達成状況
中心市街地共同住宅供給事業	実施中
地域優良賃貸住宅整備事業	実施中
住宅団地整備費補助	実施中
分譲・賃貸共同住宅建設費補助	実施中
豊田小坂本町三丁目地区優良建築物整備事業	完了

④「商業の活性化」に関する事業（15事業）

事業名	達成状況
豊田シティセンターマネジメント(TCCM)の強化	実施中
飲食店ストリート構築事業	実施中
大規模小売店舗立地法の特例区域の設定の要請	完了
まちづくり活動支援センターの活用	実施中
豊田おいでんまつりのリニューアル	実施中
ショッピングカート事業	実施中
空き店舗マッチングシステム	実施中
周年イベントの活性化	実施中
西桜町通り商業集積再生事業【調査及び計画策定】	実施中
老舗街道づくり推進事業	実施中
一店逸品運動	完了
中心市街地まちなか宣伝事業	実施中
商業活性化推進交付金	実施中
商業業務機能誘致奨励事業	実施中
商店街エコフレンドリー事業	実施中

⑤「アクセシビリティ・回遊性の向上(交通関係)」に関する事業（15事業）

事業名	達成状況
豊田市駅西口バス待合施設整備事業	未実施
豊田市駅東口駅前広場整備事業【調査及び計画策定】	実施中
(仮) 公共交通機関利用促進事業	実施中
フリーパーキング事業	実施中
地域公共交通ICカード導入事業	未実施
歩行者ITS推進事業	完了
基幹バス路線の充実	完了
共同荷捌き駐車場整備事業	完了
ゾーン交通規制推進事業	実施中
イベント時都心駐車場有効活用事業	完了
駐車場利便性向上事業(ITS車載器実用化推進事業)	完了
かた'と連携した安全運転支援事業	完了
パーソナルモビリティ導入事業【調査及び計画策定】	実施中
カーシェアリング推進事業	完了
新たな公共交通システム導入事業	未実施

第1期計画71事業・・・「完了」=23事業、「実施中」=38事業、「未実施」=10事業

参考：第2期中活計画 事業一覧

施策体系	事業名	実施状況
市街地の整備改善	1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業	実施中
	2. 無電柱化事業	完了
	3. 市道蔵前陣中線整備事業	完了
	4. グリーンプロムナード事業	実施中
	5. 民有地緑化支援事業	実施中
	6. 市道十塚八幡線整備事業	完了
	7. 豊田市駅東口駅前広場整備事業	実施中
都市施設の整備活用	【再掲】1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業	実施中
	8. 低炭素社会モデル地区整備事業	実施中
	9. ウェルカムセンター機能整備事業	実施中
	10. 都心公共施設活性化事業	実施中
まちなか居住の推進	【再掲】1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業	実施中
	11. 地域優良賃貸住宅整備費補助事業	実施中
	12. 住宅団地整備費補助事業	実施中
商業の活性化	【再掲】1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業	実施中
	【再掲】9. ウェルカムセンター機能整備事業	実施中
	13. 大規模小売店舗立地法の特例区域の設定の要請	未実施
	14. 豊田おいでんまつり事業	実施中
	15. 中心市街地イルミネーション事業	実施中
	16. 商店街にぎわい創出支援事業	実施中
	17. 空き店舗活用支援事業	実施中
	18. 竹生線沿線商業魅力化推進事業	実施中
	19. 西桜町地区商業まちづくり推進事業	実施中
	20. ペDESTリアンデッキ活用事業	実施中
	21. 商業者まちづくり活動支援センター再整備事業	実施中
	22. まちなかにぎわい・回遊性向上事業	実施中
	23. 西町小路商業活性化・環境整備事業	実施中
	24. 商業・サービス機能誘致奨励事業	実施中
	25. まちなかオフィス等誘致・新規雇用促進事業	実施中
	26. NPO 等連携事業	実施中
	27. 中心市街地テナントミックス整備事業	実施中
	28. まちなかコミュニティ施設整備事業	実施中
	29. マルチモビリティ共同利用システム構築事業	実施中
	30. 基幹バス路線運行事業	実施中
	31. 共通ICカード導入事業	完了
	32. 歩行者・公共交通優先エリア推進事業	実施中
	33. 豊田市駅バスターミナル施設整備事業	実施中
	34. EV・PHV 充電施設整備活用事業	実施中
	35. 名鉄豊田市駅耐震化事業	実施中
	36. 公共空地活用等研究事業	実施中
	37. フリーパーキング再整備事業	実施中
アクセシビリティ・回遊性の向上 (交通関係)	38. 歩行者・公共交通優先エリア推進事業	実施中
	39. 豊田市駅バスターミナル施設整備事業	実施中
	40. EV・PHV 充電施設整備活用事業	実施中
	41. 名鉄豊田市駅耐震化事業	実施中
	42. 公共空地活用等研究事業	実施中
	43. フリーパーキング再整備事業	実施中
	44. 歩行者・公共交通優先エリア推進事業	実施中
合計 38 事業 「完了」4事業、「実施中」33 事業、「未実施」1 事業		

あそべるとよたプロジェクト

参考：豊田市つながる拠点づくり計画

